
政策研究・大学連携センターの いま

政策研究・大学連携センターの活動は4年目に入りました。ここでは、当センターの直近の活動実績と、今後の活動を紹介します。

■科学技術・大学連携課の創設

2013年4月から、政策研究・大学連携センターは科学技術政策課と再編・統合され、科学技術・大学連携課という新しい課に設置されることとなりました。

政策研究・大学連携センターは、2010年4月に神奈川県自治総合研究センターの研究部門と総合政策課の大学連携部門を再編して、総合政策課に設置されました。総合政策課には「県政の基本的な事項に関する調査研究」を行う役割があります。その一環として、県政課題に的確に対応するための政策の形成を支える調査・研究を行ってきました。

科学技術・大学連携課は、科学技術政策の総合的な企画調整、県内大学との連携推進、「政策課題にかかる調査研究」を行う役割を担います。

神奈川県には、産業技術センターや農業技術センター、環境科学センター、衛生研究所、自然環境保全センターなど様々な試験研究機関がありますが、科学技術・大学連携課では、それらの試験研究機関の総合調整や公益財団法人神奈川科学技術アカデミーへの支援等の事務を所管しています。今回の組織改編によって、政策研究・大学連携センターが行う調査研究や大学連携のさまざまな局面で、県の試験研究機関と連携するなど、新たな取組が期待されます。

■調査研究事業

多様化、複雑化する県政課題に的確に対応するため、「政策形成を支える調査研究」を実施しています。内容については、県庁内から広くテーマを募集するとともに、政策研究・大学連携センターにおいて、有識者の助言を受けてテーマを決定しています。平成25年度の研究テーマは以下の5本です。

【平成25年度の研究テーマ】

- ・ 神奈川の産業の将来像－新たな産業基盤を考える－
- ・ まちづくりにおける未利用地や空間の有効活用に関する調査研究
- ・ 気候変動の影響及び適応策に関する調査研究
- ・ 健康寿命伸長が県財政及び県民生活に与えるメリットの研究
- ・ 住民との協働による合意形成のあり方に関する調査研究

また、上記の研究テーマ以外にも喫緊の課題に即応した調査・研究を実施しています。本年度は、これまでに、「健康で安心して住み続けられる団地再生」について調査・研究を実施しました。(pp.79 – 88に全文を掲載しています。)

■政策研究・大学連携センターフォーラムの開催

政策研究・大学連携センターで行った調査研究

の発信と県内外の自治体や大学、研究機関との交流を促進するため、毎年フォーラム(シンポジウム)を開催しています。

昨年度は、平成24年11月9日、ワークピア横浜にてフォーラムを開催しました。

第1部ではシンクタンク神奈川の研究成果を発表するとともに、県内自治体のシンクタンクである横須賀市都市政策研究所と横浜国立大学地域実践教育研究センターからも研究発表を行い、意見交換を行いました。第2部では平成24年度の研究テーマ「地域レジリエンス力」をテーマに県内有識者や県の担当者によるパネルディスカッションを行いました。ポスター報告では平成23年度の研究内容について紹介し、熱心に質問をする参加者も見受けられるなど、外部発信や交流のよい機会となりました。

■大学連携事業

(1)大学発・政策提案制度

県内に所在する大学から県政に関わる政策を募集し、公開コンペによる審査で選ばれた提案について、大学と県が協働で事業を実施します。平成25年度は、14件の応募があり、8月19日の公開コンペにより、次の4件が採択されました。

提案の名称 提案者	事業の概要
小学生が日本と世界の古典籍類を実見・体感し、知性を刺激して感性を涵養するためのプログラムと教材の開発と実施の提案 鶴見大学	【小学生に古典籍】 小学生に大学所蔵の和漢洋の古典籍に直接触れて、その魅力を実感してもらう体験プログラムの開発と教材の作成
宇宙エレベーターの実験機製作を通じた、夢を持ちチャレンジ精神に溢れる人材づくりと地域産業との人材交流プロジェクト ※ 神奈川大学	【宇宙エレベーターの実験機製作】 高校生を対象とした、宇宙エレベーターの実験機の製作や競技会の開催による科学的興味の喚起

発達障害の子育て支援システムに対する提案～子ども の発達を促すためのペアレント プログラムの開発・実証・普及 を通して～ ※	【発達障害児の子育て支援】 幼児期の発達障害児の親が問題 行動に適切に対応できるように するペアレントプログラムの開 発と普及
相模女子大学	
Web上の違法有害情報対応 のための人材育成と対策支 援システムの構築	【有害情報対応人材の育成と支援】 県警が推進するサイバー空間浄 化のための防犯ボランティアに 参加する人材育成のため、教材 の開発と有害情報検出システム の開発
文教大学 青山学院大学	

※は最優秀提案



公開コンペプレゼンテーションの様子(鶴見大学)



平成25年度公開コンペ表彰式

(2)神奈川県版インターンシップ

県内にある企業・団体での業務体験を通じて、県内大学で学ぶ大学生の就業力を高めることを目的とした、大学・地域・行政の連携によるキャリ

ア教育プログラムのモデル事業です。

詳しくは、本誌の特集「これからの人づくり」の中で紹介しています。

(3) かながわ発・中高生のためのサイエンスフェア

県と理工系大学等が連携して科学の不思議や理工系の魅力を発信するイベント、「中高生のためのサイエンスフェア」を7月13日に横浜の新都市ホールで開催しました。5回目となる今回は中高生を中心に2,500名の来場があり、大盛況のうちに終了しました。

会場内では体験型の実験や最新機器のデモンストラレーションが随時行われ、熱心に説明を聞いたリ、質問をする中高生の姿が見られました。各大学のブースでは、特色ある取組の紹介や進学相談なども行われました。

今回は新たに、ライフサイエンス系の大学や企業の参加もあり、これまで以上に面白くてためになるイベントとなりました。

アンケートからは「実際に実験に参加できて、大学生や先生の説明がとてもわかりやすく面白かった」「大学のことでなく、科学を生かした仕事についても知ることができた」などというご意見を頂いています。

今後も、科学技術と産業活力の向上に向けた人材のすそ野の拡大を目指し、中高生の皆さんへ理工系の魅力を発信していきます。



サイエンスフェアの実演・体験コーナーの様子

(4) 学長・知事懇談会

知事と県内の大学、短期大学等のトップで幅広く自由な意見交換を行い、県政の抱える課題、大学の課題、地域の課題に対して、共通の認識のもと連携して取り組むことを目的に、昭和55年度より毎年開催しています。今年度は「地域と連携した人材育成について」をテーマに10月29日に開催します。

(5) 県内企業魅力発見・体験バスツアー

神奈川県には多くの技術系優良企業が集まっています。大学生・大学院生のほか、大学の就職事務担当者などを対象に、県内企業を直接訪問し、工場見学や意見交換等を行うことで「オンリーワン技術」に触れ、県内企業への就職を選択肢として検討するきっかけをつくるためのバスツアーを開催しています。

昨年度は、平成25年2月12日に開催し、川崎市高津区にある秀英堂紙工印刷株式会社と横浜市鶴見区にある株式会社吉岡精工を訪問しました。



(株)吉岡精工で経営者からレクチャーを受ける参加者の様子